



第 119 号

発行 四條畷市民生委員
児童委員協議会

会長 山 崎 讓

編集 広 報 部 会

ひとりで悩まないで

大阪府中央
子ども家庭
センター

子育て
総合支援
センター

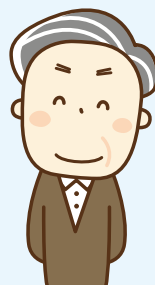
保健センター

小中学校

四條畷市役所
窓口



民生委員・児童委員
主任児童委員



民生委員・児童委員は、
あなたの必要な支援に
つなぎ、ネットワークで
あなたを支えます

四條畷市
社会福祉
協議会

コミュニティ
ソーシャル
ワーカー

地域包括
支援センター
第1、2、3

地区福祉
委員会

地区自治会



民生委員で
何してる？



民生委員に
興味ある！



民生委員を
もっと知る。

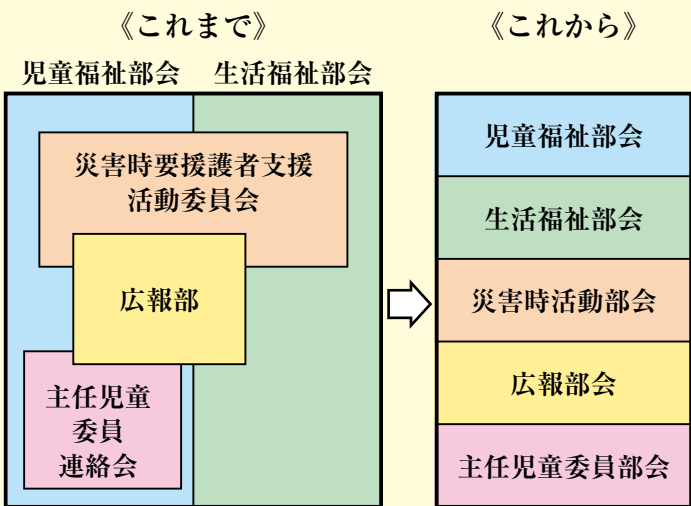
四條畷警察署

地区自主防災
組織

民生委員組織の再編成

新年度より民児協組織の再編成を行いました。これまでの専門部会は40名程の委員で構成され、会議や行事運営を行うのが容易ではありませんでした。また組織名が部会・部・委員会・連絡会と統一性がなく、この度部会という組織名に全て統一しました。いくつかの組織を重複担当する委員もいたことから、1委員1部会所属を原則としました。

各部会の担当も新たに、5部会それぞれの特徴ある活動を行える基盤がこれまでに整いました。新しい部会名に早く慣れていただき、日々の民生委員活動に加えて仲間と一緒に専門部会活動で民生委員活動の認知度をもっと高めて行きたいと思えます。



副会長研修オンライン受講

民生委員児童委員副会長研修を自宅でオンライン受講しました。関西学院大学牧里名誉教授による講話を聴くという授業形式のもの。地域共生社会の概念や地域包括ケアシステムなど福祉行政に関わる動向と地区福祉委員との協業が中心の内容。これからの民児協運営や事業を決めていくにおいて必要な時事知識を再度習得し直すいい機会になりました。

自宅において一人でパソコンに向かうということになるので、約3時間におよぶ研修に集中できるかどうか

か懸念がありました。これについては一気に全部を受講するのではなく適宜中断や途中からの再開など工夫をし、無理なく受講することができました。みなさんと一か所に集まって受講する形式の研修も並行して行いながら、オンライン研修を積極的に取り込んでいけばいいのではと実感しました。

北井隆嗣



大阪府

民生委員・児童委員

キャラクター



「そこまで変えて委員会」



社会貢献広告会社(株)
ユナイテッド・トウモロ
代表取締役 尾関栄二氏

「そこまで変えて委員会」という広報活動スキルアップ研修を受講しました。タイトルからも興味をわきました。資料を見ても、ど

広報 研修

んな内容なのかと思わせる個性的なものでした。大事なことは、誰のために作っているのかです。読み手をイメージし、読み手のために何ができるのかを考え、色々と模索して、変えていく気持ちだが、よりよい広報誌作りにつながる事を教わりました。例えばタイトルに大阪弁を使ったり、集合写真ではなく一人でも笑顔いっぱいの写真を載せる事で読み手が誌面に興味を持つてくれたらうれしいです。目指すのは、より身近に感じてもらえる広報誌です。

民生委員・児童委員リーダー研修会

2月8日(月) 社会福祉協議会会議室で、プロジェクトによる「令和2年度全国民生委員・児童委員リーダー研修会」を理事会メンバー全員で受講しました。

内容は行政説明について、厚生労働省の講師により、おたがい地域の関係機関と連携・協力を取りながら、

早期発見し活動できるしくみづくりが重要であること。

講義においては、「障がいのある人の人権」で講師はNPO法人神奈川県障害自立生活支援センター理事川田隆一氏による障がい者との接し方で、社会全体でかわり、対応して行くことが重要で「障がいは病気で

はない」と云うことを考えさせられ、もう1件は「単位民児協等における相談技法研修のすすめ方」で、講師は元・梅花女子大学准教授植田寿之氏により、地域住民として顔見知りになり、

あせらず時間をかけて、信頼関係を築く難しさや相手の立場に立ってしっかりと聞

き、思いを受け止める。実践活動でリーダー的役割を果たす重要性を再認識させられた研修でした。

清水富雄

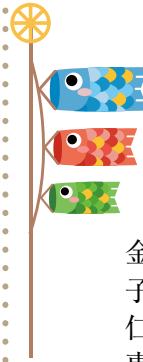


畑中地区

畑中子育て元気ツズ

11月27日(金)10時から出前講座、「子育て支援センターの方と遊ぼう」を再開しました。13組の親子で楽しく歌ったり体を動かし、オモチャで遊んでいる元気な姿を見て気持ちがあがりました。コロナ禍で行事が少なくなりましたが、今後新しいコロナウイルス感染症対策を考え地域との交流を深めて行きたいと思っています。

金子仁恵



府営清滝住宅地区



コロナ禍の中、楠風荘を会場にした地域活動を、9月から再開しました。「フレイル予防の話」「映画会」「脳トレと暇つぶしストレッチ体操」今回は「栄養と免疫の話」です。参加者を二回に分ける、換気に注意し間隔をあけて座る、マスク着用、体温体調チェック、手指の消毒等コロナ禍の中での活動である事にいつも留意しています。皆さんの笑顔や「楽しかった」という言葉が、外に出る機会を増やしたいという私達の『おもい』の原動力です。

中村真知子

コロナ禍における地域活動

田原台地区

令和2年12月に田原支所にて、ひまわり子ども園と子育てサロンカンガルーホップと一緒にクリスマス会を開催し、絵本の読みきかせをしました。

大型絵本だったこともあり子どもたちが絵本を指差ししたり、タッチしたりとても興味を持って見たり、聞いたりしてくれました。

ひまわりの先生方と「定期的に開催したいですね」とお話しする機会にもなり、今後は楽しみです。

旭 恵美里



清滝地区

令和2年11月26日(木)10時から、畷たんぼ保育園にあるつどいの広場で、絵本の寄贈と読みきかせをしました。事前に希望する絵本をきいて、当日約20冊のかわいい絵本を持参しました。

新型コロナウイルス感染症対策として、参加者は予約制とし、3組の親子が来てくれました。民生委員活動についての説明の後、中尾さんと一人一冊ずつ読みきかせをしました。

皆さんの楽しそうな様子を見て、読んでいる私達も幸せな気分となり、とても楽しい時間を過ごすことができました。

吉田知子



ソーシャルディスタンス等工夫しながらの地域活動
前号(118号)で紹介できなかった地域活動を今回紹介させていただきます。

おめでとう!!

市内の各小・中学校の卒業式と入学式は、新型コロナウイルス感染症対策のため自粛となり、我々民生委員・児童委員から心を込めて、手書きの祝電をお届けさせていただきました。多くの皆様から喜びの声がかえりました。

各小学校へお礼に行ってきました

くすのき小学校訪問

北井 隆嗣

独居高齢者向け年賀状のイラストに応募された小学生の皆さんへのお礼に、1月20日くすのき小学校を訪れました。白井校長先生との対談は新型コロナウイルス



くすのき小学校

ス感染症対策を中心としたものになりました。先生方はいろいろなと計画を立てるもののほとんどが変更や中止となり授業の運営にとても苦労されています。校長先生はマスクをつけた1年生の顔が覚えられません。クラス全員が一方方向を向いた無言の給食時間はとても異様な雰囲気です。しかしコロナ禍でもできることを今するということ信念で授業に取り組んでいるとのことでした。

「こんな中やはり地域との連携は欠かせません。地域が子ども達を育てているのです」というおことばをいただき、また民生委員の活動を評価されて、うれしさを覚える一方、この期待にきちんと応えていかなければという責任の重さを考えさせられました。

なわてコラム

助かって良かった!

冬のある早朝、玄関のベルが鳴り新聞配達の方が「一人住まいの人が倒れているのを見つけた」とのこと。急いでかけつけると毛布がかけられて横たわっていました。前日の朝九時頃、コタツの上のほり、物を取ろうとしたところ、足元がふらついて倒れ、そのまま動けなくて、実に十八時間以上寒い玄関口で何も飲まず食わずに耐えておられたようでした。救急車で一緒に病院へ行き入院、骨折手術という事になりました。

この方が新聞をとっておられなかったら訪れる人もなく、両隣りも空家で誰にも見つけてもらえず全く動けずに：想像するだけでこわくなります。その後二ヶ月程して地区の方へ「マスク」を配布する時、この方を訪問したら、元気にリハビリをして回復され、笑顔で面会できました。あの時あの命のバトンリレーをつなぐ事ができたおかげで助けられた事がとても良かったと実感しました。

佐倉公子

感想

今回のケースは、新聞配達の方の力が大きかったと思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。日々の見守りがどれだけ大切であるかという事を実感させられました。

新聞配達員さん、通報ありがとうございます。